

社会資本整備総合交付金 事後評価提出様式

令和2年5月

対象事業	名取市内の各生活圏の交流促進を図り、安心して安全な交通等を支援する社会資本整備	対象地域	名取市
対象事業の期間	平成27年～平成31年	対象事業No.	7
対象事業の目的			

名取市内の各生活圏の交流促進を図り、安心して安全な道路空間と一体となった住環境空間を支援するための社会資本整備を行う。

対象事業の効果	B/C
歩道設置することにより、安心して安全な道路空間と一体となった住環境空間を支援する。	-

対象事業の成果目標 (アウトカム指標)	①安全歩行空間通行可能指数					
	②快適車道走行可能指数					
アウトカム指標の 定義及び算定式	①	$\Sigma(\text{目標歩行者通行量}/\text{日}) \times \Sigma(\text{歩道整備済延長}/\text{歩道整備計画延長})$	アウトカム 指標の現況値 及び目標値	当初現況値 0人 (H27当初)	中間目標値 26人 (H29末)	長期目標値 852人 (H31末)
	②	$\Sigma(\text{目標自動車交通量}/\text{日}) \times \Sigma(\text{改良済延長}/\text{整備計画延長})$	アウトカム 指標の現況値 及び目標値	当初現況値 0台 (H27当初)	中間目標値 1,553台 (H29末)	長期目標値 10,113台 (H31末)

事後評価

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H27	33 百万円
	H28	153 百万円
	H29	226 百万円
	H30	64 百万円
	H31	123 百万円

・七島浜田線：H28に工事完了。
 ・佐久間線：H31に工事完了。
 ・植松田高線ほか：H31に工事完了。
 ・熊野堂柳生線：H28～H29にて、H30より「宮城県の実現と活力に満ちた飛躍を支える社会資本整備（防災・安全）」に移行し事業継続。
 ・笠島川内線：H28～H31にて事業実施。R2以降引き続き事業実施。

2. 事業効果の発現状況

①成果目標に関連する要素事業の効果の発現状況	【七島浜田線、佐久間線】 整備前状況として、両路における一部未改良区間にて現道幅員が狭隘であり、緊急車両の乗入れが困難且つ生活道路としての利便性が悪い状況であった。整備後、走行車のすれ違いが可能となり、前述の課題が解消され、快適な走行空間が確保された。			B/C
②成果目標の達成状況	①長期目標値 (H31末目標)	852人	目標値と実績値に差が出た要因	当初計画において、七島浜田線、佐久間線、植松田高線ほか、熊野堂柳生線、笠島川内線と計5路線の整備予定であったが、熊野堂柳生線および笠島川内線においては事業計画の見直し等に伴い事業完了年度が延伸し、現在も事業継続中のため今回は評価対象外となることから、目標値と実績値に差が生じた。 安全歩行空間通過可能指数と同様の理由にて、目標値と実績値に差が生じた。
	①長期実績値 (H31末実績)	47人		
	②長期目標値 (H31末目標)	10,113台		
	②長期実績値 (H31末実績)	866台		
③成果目標以外の要素事業の効果の発現状況	【植松田高線ほか】 「名取市公共サイン基本計画」に基づき、市民や来訪者の利便性向上のため、公共サインの設置を行い、市内公共施設への案内機能が拡充された。			

3. 特記事項

